

事務事業名	あおぞら保育園運営事業		所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	教育・保育グループ	課長名 後藤 和子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		担当者名	中西 章博	電話番号:0854-40-1044 (内線) 2251
	目的・対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。		
	基本事業	〈072〉子育てと仕事の両立支援		予算科目	会計 0:1150:2 款 1:0200:1 大事業 大事業名 中事業 中事業名	私立保育所運営事業 あおぞら保育園運営事業
目的・対象	保護者		意図	子育てと仕事を両立できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
入園児童及びその保護者	入園児童を心身ともに健やかに育成するとともに、保護者の働き方の多様化に柔軟に対応し、子育てしやすい環境をつくる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	市内のあおぞら保育園・乳児分園への入所申し込みがあった場合、受入れの可否を照会。可能な場合は、協議、委託契約書締結などを経て入所承諾し、保育料を徴収。実施責任を負う雲南市があおぞら保育園に保育の実施に要する費用を支弁する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 委託先のあおぞら保育園・乳児分園に実施費用を支弁する。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・平成28年乳児分園を開園し30名定員増

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 希望児童数に対する受入率	%	100.0	98.9	100.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
保育委託料: 99,722千円	財源内訳	国庫支出金	千円	59,857	60,798	49,496	49,858	
委託料: 55,297千円(本園)		県支出金	千円	26,331	26,243	21,315	21,369	
委託料: 44,425千円(分園)		地方債	千円					
【財源内訳】		その他	千円	5,004	5,612	3,594	3,658	
国49,496千円(給付費)		一般財源	千円	31,559	31,398	25,317	24,975	
県21,315千円(給付費、1・2子軽減、3子軽減)		事業費計	千円	122,751	124,051	99,722	99,860	
その他3,594千円(保育料)								

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	共働き世帯の増加、働き方の多様化などにより、事業の継続的な実施が求められている。また、延長保育、一時保育など、保育ニーズに対応するため、施設と連携を取りながら、保護者の仕事と子育ての両立支援を行っている。
② 事業実施するうえでの課題	待機児童は落ち着いてきているが、少子化に伴い入所希望は減少傾向にある。国において保育士配置基準等の見直しを検討されているので、国の動向により、対策が必要となってくる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国基準等に基づき現状維持又は改善を図っていく。今後児童数の減少により、引き続き保育必要量の確保ができれば定員の見直し等を検討する。